



6月の予定

〈公〉中央公民館 〈農〉農業者トレーニングセンター
〈町〉町民会館 〈さ〉さんさん館 〈健〉健診ホール
〈温〉温水プール 〈ふ〉ふれあい公園PG場

- 1日(月) 津別峠展望施設開館
- 5日(金) 大通り花壇植栽 午前10時～正午〈町役場正面駐車場〉
- 7日(日) [休日当番病院] 津別病院 ☎76-2121
危険物安全週間(7日間)
- 14日(日) [休日当番病院] 美幌町立国保病院 ☎73-4111
- 15日(月) 町有車両入札執行 午前9時
- 16日(火) 乳幼児相談会 午前8時30分～10時〈健〉
- 18日(木) 移動献血車「ひまわり号」来町
- 19日(金) 移動献血車「ひまわり号」来町
- 20日(土) リサイクル回収 午前9時～11時〈スポーツ交流館〉
- 21日(日) [休日当番病院] 美幌 田中医院 ☎73-2913
- 28日(日) [休日当番病院] 美幌 みやざわクリニック ☎75-0800
消防演習 午後1時～〈津中グラウンド〉



人の動き

令和8年4月末現在
()は前月比

人口 3,833人(-11) 世帯 2,092戸(-2)
男性 1,910人(-4) 女性 1,923人(-7)
高齢化率 45.58% 1,747人

町の防災情報など大切な情報を
登録された方のメールやLINEにお届けしています。

「ささえねっと@つべつ」

※詳細は、町の
ホームページから
ご確認ください。



メール配信システムに登録お願いします！登録方法は以下のとおりです。

メール
の場合

方法①
右の
QRコード
から登録



方法②
空メールを
t-tsubetsu@sg-p.jp
に送って登録

LINE
の場合

右の
QRコード
から登録



【233】 津別町の人口動向

津別町の住民記録において、令和7年度に初めて転入が転出を上回った。ただ亡くなられた方が多かったため、トータルとしては引き続き人口は減少した。転入、転出、出生、死亡、回復、抹消の記録は、昭和37年4月以降降残されている。この間に毎年度転出が転入を上回り、多い時にはその差200人を超えていた。それが令和7年度は転入が154人、転出が137人となり17人増加した。これは外国人と15才以下の転入者が増えたことによる。

たてよこプラス



町長 佐藤多一

私が町長になった平成18年12月から令和8年3月末までの人口の動きを見ると、全出生数は455人で、平成22年度の35人が最も多く、最低は令和3年度と令和6年度の9人だった。一方、死亡者数は1761人で、平成28年度の112人が最も多かった。転入者数は2665人で、平成20年度の186人が最大であり、転出者は4203人で、同じく平成20年度の271人が最大だった。そこで(出生+転入)-(死亡+転出)で計算すると、2544人減少し、平成18年度の182人が最大で、令和7年度の70人が最少となった。また、津別町に34ある字ことの人口と世帯数を平成19年3月末と令和8年3月末で比較すると、人口が2338人、世帯が551世帯減少している。減少数が最も多かったのは、豊永の418人81世帯で、老朽化した役場職員住宅の解体が主な要因である。人口の減少率では本岐の76%が最も高く、次いで高台が高栄団地の解体により66%減少した。一方、旭町の人口はわずか7人の減少で、まちなか団地の整備と個人住宅の新築により世帯は28世帯増加した。

人口減少に対し、津別町に限らず小規模自治体は様々な取り組みを進めているが限界も感じている。若者の首都圏への集中が続く中、地域間の競争ではなく、抜本的な国による対策を強く望みたい。